

動詞.10 他動詞・自動詞

名前

解答

解答

自動詞…働きかける対象がない。動作・作用・存在のみ表す。

例 とびらが閉まる。

他動詞…働きかける対象がある。対象に働き掛ける動作・作用を表す。

「る」の形で表される。

例 とびらを閉める。

自動詞・他動詞の種類

① 自動詞と他動詞が対応関係にある。

例 (自)カギが壊れる。(他)カギを壊す。

② 対応する他動詞がない自動詞。

例 来る、泣く

③ 対応する自動詞がない他動詞。

例 読む、学ぶ

④ 自動詞と他動詞が同じ形のもの。

例 笑う、怒る

(1) 次の線部の動詞は、自動詞・他動詞のいずれか。

① 先生がドアを開ける。

② 父は新聞を読む。

③ 雨が静かに降る。

④ 風でドアが閉まる。

⑤ 私はポストに手紙を入れる。

(他動詞)

(他動詞)

(自動詞)

(自動詞)

(他動詞)

(2) 次の線部の動詞について、対応する自動詞もしくは他動詞を答えよ。

① 父がドアを開ける。

(開く)

② お皿がテーブルから落ちる。

(落とす)

③ 彼はおもちゃを壊す。

(壊れる)

④ 運動会ではちまきの色を変える。

(変わる)

⑤ 新しい病院が建つ。

(建てる)

⑥ 私は部屋の電気をつける。

(つく)

⑦ お皿がテーブルから落ちる。

(落とす)

(3) 次の線部の動詞は、自動詞・他動詞のいずれか。

① 鳥が空を飛ぶ。

「空を」は目的語ではない。(自動詞)

② 妹はいつもその橋を渡る。

「橋を」は目的語ではない。(自動詞)

③ 私は消しゴムを落とす。

(他動詞)

④ 彼は川を泳ぐ。

「川を」は目的語ではない。(自動詞)

「る」は、目的語(他動詞の対象)だけでなく、「通過する場所」「出発点」を表す使い方もあります。まぎわらわしい問題に注意してくださいね。

